

湖東京至さんに聞く

消費税を上げずに 社会保障財源を生む税制とは

2018年11月17日 13:30～16:00 (開場 13:00)

私学会館アルカディア市ヶ谷7階 妙高 (定員 50名)

参加費：1000円、学生 500円

消費税は社会保障に使うと政府が言っているのは本当か？
軍事費を削って社会保障に回すべきでは？
使われ方がよければ消費税を上げるのも仕方ないのか？
消費税はほんとうにみんなが公平に負担しているのか？

消費税は安倍政権下で来年10月、10%に増税されることが決まっています。「消費税は社会保障に使われる」と言われてきましたが、現実には社会保障は年ごとにどんどん削減されています。一方で軍事費は増加の一途をたどり、2019年度の予算は5兆3000億円と過去最大に達しました。生活保護基準の引き下げ、実質賃金の低下などによって格差の拡大が進行するなかで、このまま消費税増税が行われれば私たちの生活はどうなってしまうのでしょうか。

国際的には消費税を見直そうという動きがすすみ、いづれなくなる税制とも言われています。今あらためて、消費税の本質について学び、話し合ってみませんか。

ことうきょうじ 税理士。1937年生まれ。65年税理士一般試験合格、税理士事務所開設。94年静岡大学人文学部法学科教授、同大学法学研究科(大学院)教授、2001年関東学院大学法学部法科大学院教授、同大学法学研究科(大学院)教授、04年から08年まで同大学法科大学院教授。現在、中野合同税理士事務所所長。「不公平な税制をただす会」代表委員。「倉敷民商弾圧事件無罪を勝ちとる東京の会」会長。著書に『税が悪魔になるとき』(2012年、新日本出版社)、『消費税を上げずに社会保障財源38兆円を生む税制』(共著、2018年1月、大月書店)など。



アルカディア市ヶ谷
東京都千代田区九段北4丁目2-25
地下鉄 都営線、有楽町線、南北線 市ヶ谷駅
JR 中央線(各駅停車) 市ヶ谷駅



申込み・問い合わせ

「11.17集会申込み」と書き、お名前・連絡先をご記入のうえ、下記あてお送りください。

FAX: 03-5684-1412

email: 1pyodekaeru@gmail.com

ホームページ: 1pyo-de-kaeru.com

主催：一票で変える女たちの会